

特別賞 新報国マテリアル社長 成瀬 正氏



新報国マテリアルは1939年に旧三徳工業の川越工場として誕生し、報国製鉄と合併して49年に新報国製鉄として設立しました。継目無鋼管用工具の開発をはじめ、主力の低熱膨張合金（インバー合金）は国内半導体製造装置メーカー向けに事業を拡大しました。

新材料・新製品でさらに成長

私は旧住友金属工業から日立金属の事業役員を経て、2008年に当社の副社長に就任しました。入社直後にリーマン・ショックが発生。70億円あった売上高は、20億円に激減しました。

ただ、しつぱを巻いて逃げる訳にはいけません。09年8月に構造改革計画と社長就任を発表。本社の鋳物工場を三重県桑名の工場に集約し、社員も約半分に減らしました。

利益を出せない事業はやめました。会社がつぶれるかどうかの瀬戸際で、当たり前のことをやっていたまです。09年は大幅赤字でしたが11年からは黒字を維持しています。

ただ、しつぱを巻いて逃げる訳にはいけません。09年8月に構造改革計画と社長就任を発表。本社の鋳物工場を三重県桑名の工場に集約し、社員も約半分に減らしました。

社長像には率先垂範スタイルなどいろいろありますが私はサポータースタイル。主人公は技術者であり営業です。成長には新しい材料開発が欠かせません。今期売上高で60億円を見込んでいますが、あと10億円伸ばしたい。これは新製品で達成できると思っています。これからも先端技術の開発に力を注いでいきます。

企業データ

- ①1939年②1億7550万円③約100人④特殊鋼の開発⑤川越市